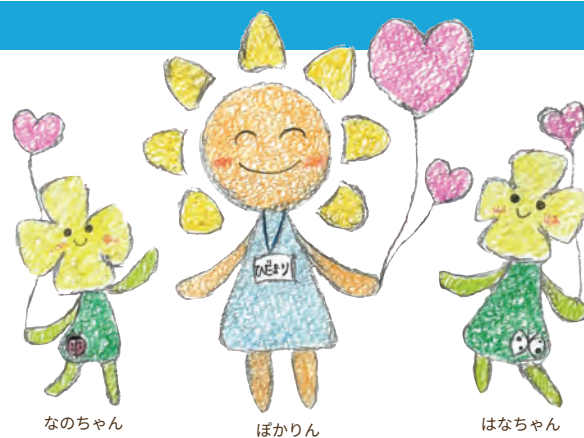


ひだまり

ニュース

2026年 7月
夏春号



生活困窮者自立支援事業

ひだまりではでは鋸南町の「生活困窮者自立支援事業」を受託しています。

この制度は、生活にお困りの方が一人ひとりの状況に応じて安心して暮らしていけるよう、相談支援を通じて自立をサポートするためのものです。仕事が見つからない、収入が不安定、家計のやりくりがうまくいかない、住まいに困っている、人間関係や健康面の悩みを抱えているなど、さまざまな課題に対して専門の相談員と一緒に考え、解決へのお手伝いをしています。

また、この事業に関しては年に数回、安房圏域の生活困窮者自立支援事業に関わる相談員が集まり会議を行っています。その中で、「各市町ごとの取り組みだけでなく、安房圏域 3 市 1 町で共通して使えるツールがあれば、支援がもっとスムーズになるのではないか」という意見が出され、このたび「つなぐシート」というものを作成しました。

この「つなぐシート」は、相談につながるきっかけづくりと、関係機関同士の円滑な引き継ぎを目的としたものです。

現在は行政や就労関係の機関などに配布されており、お困りごとの内容や状況を簡単に記入できるようになっています。例えば、「病気や健康・障害」「ひきこもり」「家賃やローンの支払い」「食べるものがない」など、大まかな内容だけでも記入いただくことができ、このシートを活用することで、紹介する側もされる側も状況を把握しやすくなり、よりスムーズで途切れない支援につながります。

また、ご本人が直接記入する場合「自分の困りごとがうまく説明できない」「何が問題なのか整理できていない」と感じている方にとっても、書き出していただくことで状況を整理する手助けになります。このように、「つなぐシート」は支援の最初の一步をやさしく支えるためのツールですのでぜひご活用ください。

多くの方にご利用いただき、必要な支援が必要な方へしっかり届くよう、今後も取り組んでまいります。

行政機関・関係者の方へ

本会を紹介される場合は、「つなぐシート」に記入し、相談希望者にお渡しください。

つなぐシート

●部署・機関名
担当者の氏名
電話番号

●相談希望者の氏名
フリガナ

●ご相談された理由に「○」を、一番お困りのことに「の」をつけてください。

病気や健康、障害	家賃やローンの支払い
仕事探し、就労	家族との関係
ひきこもり・不登校	税金等の支払い
住まい	子育て
仕事上の不安やトラブル	住居確保給付金
DV、虐待	債務
収入、生活費	介護
地域との関係	食べるものがない
その他	

ご利用にあたって

●対象者
鋸南市、鴨川市、南房総市、館南町にお住まいの方。
※「住居」上の登録にはりません。
※生活保護を受給されている方は、まずは担当のケースワーカーにご相談ください。

●実家や外出先での対応が難しいこと
ありますので、ご来所の前にご相談いただくと大変助かります。

●ご状況によって、電話や訪問でも対応いたします。

●ご本人だけでなく、ご家族やご近所の方からのご相談も受けします。

●相談は無料、もちろん秘密厳守です。

ひとりで悩まず、まずはご相談ください。

くらしの相談窓口

～自立相談支援のご案内～

お住まいの地域に、生活に関する相談窓口があります。
仕事、お金、住まいで悩んでいること、お困りごとはありませんか？

ひとりひとりの状況にあわせて、解決策と一緒に考えていきます。



社会福祉法人
太陽会

千葉県中核地域生活支援センター
ひだまり

ひだまりは、千葉県からの委託で社会福祉法人太陽会が運営しています。

2026.7.1 発行（不定期発行）

この広報紙に関するお問い合わせは…

☎ 0470-28-5667 まで

株式会社 wellstone 障害者グループホーム「オリーブ」

2026年4月、自分らしく安心して暮らせる我が家を目指し、館山市八幡に障害者グループホーム「オリーブ」を新規開設いたしました。
定員10名（5名×2ユニット）の家庭的で温かな共同生活援助のホームです。
オリーブの最大の特徴は、医療・福祉の専門職や看護師が在籍し、職員が常駐して24時間いつでも対応できることです。



施設は1階がバリアフリーとなっており、全室7畳の個室にトイレ、洗面台、Wi-Fiを完備。プライベートな空間を大切にしながら、高齢になっても末長く安心して暮らせる環境を整えました。
近隣にはお買い物に便利な尾張屋やカインズ、ベイシア、ユニクロがあり利便性も抜群で、ご家族もお気軽にご訪問いただけます。

体験・見学は大歓迎ですので、まずはお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ・所在地】

〒294-0047 千葉県館山市八幡 119-1
TEL：0470-29-3955（担当：石井）



ひだまり職員紹介

この度、ひだまりに新たにコーディネーターが入職し、新体制となりました。日々変化する福祉の現場において、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し今後も関係各機関の皆さまと共に温かい支援を届けられるよう努めてまいります。本年度もよろしくお願いいたします。

塚越 亜希代（つかごし あきよ）

2025年12月にひだまりへ入職いたしました塚越と申します。これまで15年ほど、介護保険に関わる仕事に携わってまいりました。

ひだまりでは、さまざまな課題を抱える方々に対し、相談支援や居場所の提供、社会参加に向けた支援を行っています。ご本人の状況や希望に寄り添いながら、安心して過ごしていただける関係づくりを大切に、一人ひとりに合わせた無理のない支援を心掛けてまいります。

若山 聡（わかやま さとし）

2026年4月より、グループホーム等支援ワーカーを務めさせていただいております、若山 聡と申します。「らんまん」と兼務しております。

皆さまとの関わりを大切にしながら、少しでも地域のお役に立てるよう努めてまいります。

まだまだ勉強中の身ではありますが、自分らしく誠実に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

重層勉強会

前回、参加者の皆さまから大変好評だった亀田総合病院臨床心理室 室長・富安哲也氏による講義について、「ぜひまた開催してほしい」という多くの声を受け、第2回の開催が実現しました。

今回のテーマは、「心のメンテナンス研修 ～ストレスとうまく付き合う方法を学ぼう～」です。ストレスに耐えるのではなく、どのように向き合い、乗り越えていくかについて学び、さまざまな対処法を知る機会となりました。また、講義の後には瞑想を取り入れたエクササイズにも取り組みました。

実際に自分の身体に意識を向ける時間を持つことで、普段いかに身体に力が入り、緊張した状態で過ごしているかに気付くことができました。

支援者の皆さまにとって、日頃のストレスケアの一助として、ぜひ今回学んだ内容を活用していただければと思います。



南房総ひきこもり支援協議会

この協議会は、安房圏域における中核的なひきこもり支援機関の設置を目指し、高齢・障害・生活困窮などの分野を超えた横断的な連携を図ることを目的として発足しました。

日頃からケース検討や研修会を実施しており、ひだまりもその活動に参加しています。

令和7年に厚生労働省が示した新たなひきこもり支援の指針「ひきこもり支援ハンドブック ～寄り添うための羅針盤～」を受け、当協議会では各機関の相談窓口の周知と意識啓発を目的として、リーフレットを作成しました。

ひきこもり支援に関する相談窓口や取り組みについてご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。



「ひきこもり支援ハンドブック」以下のQRコードから検索できます。

厚生労働省 ひきこもり支援ハンドブック



発行：南房総ひきこもり支援協議会

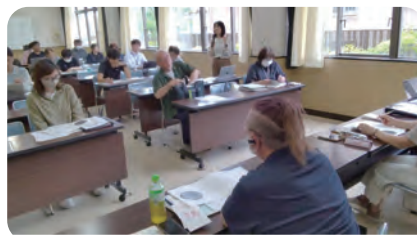
子ども部会と医ケア児等WGの会議

令和8年5月21日（木）、菜の花ホールにて地域自立支援協議会の「子ども部会」および「医ケア児等ワーキンググループ（WG）」が開催されました。

子ども部会では、「障害児の福祉サービスについて ～活用と課題～」をテーマに、相談支援事業所（梨の実、陽相談室、にじいろはうす）の相談支援専門員から、支援の現状や課題についてお話をいただきました。

医ケア児等WGでは、医療的ケア児等に関する法律や制度上の定義について確認を行うとともに、3市1町の担当者から、災害時の個別支援計画「避難ぱらん安房」の進捗状況について報告がありました。

また、新たな取り組みとして、医療的ケア児等への支援を総合的に調整する「医療的ケア児等コーディネーター」の情報交換会も開催されており、関係機関の連携強化に向けた取り組みが進められています。



あつまり

ひだまりでは、誰かとつながることの大切さや安心感を感じていただくため、性別・年齢・障害の有無を問わず、参加される皆さまが楽しいひとときを過ごしていただけるよう、「あつまり」と称した居場所づくりを開催しています。

会場は館山コミュニティセンター（中央公民館）1階で、奇数月に開催しています。

令和8年1月30日（金）、3月30日（月）、5月29日（金）に開催しました。

1月は「NPO 法人あわの風」にて、節分のお面作りと豆まきを行いました。室内での豆まきでしたが、大いに盛り上がりました。

3月はしおり作りを行いました。当日は天候にも恵まれ、屋外に出て、しおりに挟む草花を探しながら散策しました。採取した草花を使い、それぞれがデザインを考えながら、自由な発想で作品づくりを楽しんでいました。

また、屋外では参加者とスタッフが笑顔で声を掛け合いながら、和やかな雰囲気の中でバドミントンを楽しみました。ラリーが続くたびに自然と笑い声が広がり、互いに応援し合う姿も見られました。

「あつまり」では、それぞれが無理のないペースで参加し、交流を深めながら楽しい時間を過ごしていただけるよう、スタッフ一同お待ちしております。



高次脳機能障害家族と支援者の会

ひだまりでは、高次脳機能障害家族と支援者の会「なんぼーこーじ」に参加しています。活動内容は、月1回の定例会をはじめ、各種行事での周知・啓発活動や、他県の家族会との交流会など多岐にわたります。

高次脳機能障害家族会は全国各地で活動していますが、こうした地道な草の根活動の積み重ねにより、この4月、家族会が長年望んできた高次脳機能障害支援法が施行されました。

これにより、外見からは分かりにくい障害を抱える方々への支援のあり方が制度として明確化され、医療・福祉・就労を切れ目なくつなぐ支援体制の構築に向けて、大きな一歩が踏み出されました。

私たちも家族会への参加を通して、当事者やご家族の生の声に触れる機会を得ており、支援の重要性を改めて実感しています。

今後は、こうした取り組みを地域全体へ広げていくため、市町との連携をさらに強化し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていくことが求められます。



ひだまり掲示板

ひだまりからのお知らせ

ひだまりでは、子どもや障がい者、高齢者といった枠を取り払い、一人ひとりの状況にあわせて、公的機関、民間事業者、福祉グループなどが行なう様々な福祉サービスのコーディネートや、福祉の総合相談、権利擁護活動等をおこなっています。

ご相談は24時間・365日体制で受け付けています。ご相談方法は、電話やメール、ご自宅へ訪問、ひだまりへの来所など。個人情報はお守りしていますが、気になる方は匿名でのご相談もできます。

お気軽にご相談ください。



広報紙「ひだまりニュース 2026年夏号」2026.7.1発行

【編集・発行】千葉県中核地域生活支援センターひだまり 〒294-0014 千葉県館山市山本1155

TEL.0470-28-5667 FAX.0470-25-5043 E-mail: hidamari@s-taiyou-kai.jp



ひだまりのホームページ